

府中市男女共同参画計画 重点項目一覧(各委員評価結果)

男女が共に参画するまち府中プラン

【評価基準】 ※→は評価点数換算
 A…施策は非常に良好に進展している → 5
 B…施策は、良好に進展している → 4
 C…現状維持 → 3
 D…施策がやや後退している → 2
 E…後退している → 1

I あらゆる分野における男女共同参画

1 社会・地域における男女共同参画

(1) 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大

			各委員による評価										評価平均
2	すべての審議会等に女性の委員の登用	政策課	D	C	D	D	D	C	D	D	D	C	2.3
	特記事項 (コメント)	<p>・90%以上の目標に届いていない(84.6%)、女性委員の割合が3.9%減などからこの評価とした。 ・女性委員の割合が下がっているという現状もあるが、減少率が5%未満のため、単に施策が後退しているとは言えないので、この評価としました。難しい状況を理解できますが、女性登用促進策を継続してください。また、女性委員がいない審議会への具体的なアプローチ策などの提示をお願いしたい。 ・目標90%に達成していません。努力してください。 ・女性委員がいない審議会は、まちづくりや都市計画に係る審議会であるが、これらにも女性の視点を取り入れるべきであり、関係団体からの選出だけでなく、女性公募委員の登用も必要である。 ・まだすべての審議会等での女性委員の登用が達成していない。 ・実績は減少したものの、計画の中身がヒアリングをやったことで女性登用への働きかけの姿勢がやや積極的になったように思われることからCにしました。 ・H27年は、女性委員の割合が全体で31.8%と、H26年度の32.2%より減少している。H27年度目標の35%は達成出来ていない。今回の評価では、【別表】(全ての審議会・協議会の女性委員の割合が載っているもの)がないため、個々の検討は出来ない。 ・女性委員の割合の減少に対し、前年度と同じ対策では、増加に転じない。女性の専門分野での活躍されている方は必ずいるので、団体の窓口だけでなく、個人的推薦をしていただきたい。 ・課の立場上、スタート地点に位置しているので、あと一步具体的な改善内容の提示を期待する。 ・せめて目標は各委員会等の女性委員の登用は100%、構成比のそれは50%でいきませんか。</p>											
	判定理由及び改善策の提言等(案)	<p>「男女両方を含む附属機関等を90%以上とする」という数値目標に届いていないこと、女性委員の割合が全体で31.8%と、H26年度の32.2%より減少していることからこの評価としました。計画には「最終的に女性の委員がいない審議会をなくすことを目指します。」とありますので、前年と同じ数値目標ではなく、暫時引き上げていくようにしてください。 なお、女性の委員がいないのは、まちづくりや都市計画に係る審議会ですが、これらにも女性の視点を取り入れるべきであり、関係団体からの選出だけでなく、女性公募委員の登用も必要と考えます。あと一步具体的な改善内容の提示を期待するとともに、次回の改選時には女性の委員を必ず入れ、女性のいない審議会等を無くすよう要請します。府中市は人材が豊富であると思っておりますので、もっと女性の委員を増やす努力をお願いします。 ヒアリングに応じていただいた内容を活かし、今後の実績値のアップに期待します。</p>											

D

(5)市職員等の男女共同参画の推進

			各委員による評価										評価平均
			C	C	C	C	C	D	C	C	C	C	
22	職員に対する研修会、講演会の実施	職員課	C	C	C	C	C	D	C	C	C	C	2.9
	特記事項 (コメント)		<p>・職員全員を対象に継続的に講演会を企画、運営している点は評価できる。本講演会およびディスカッションが、女性管理職への登用やワーク・ライフ・バランスが実現できる職場に寄与していることが確認できれば、さらに評価したいが、現状左記の点が確認できないので、この評価とします。</p> <p>・引き続きPRや講演会を実施してください。</p> <p>・全職員対象でなく、女性職員のみを対象とした研修会、講演会を実施することが、職場内の慣行や固定的な役割分業の改善につながると思う。</p> <p>・参加する職員が少ない。もっと意識が高くなるような働きかけが必要ではないか。</p> <p>・全職員を対象として、毎年講演会を行っているのは素晴らしいが、参加人数があまりにも少ないことと、どのような内容で成果が出ているのかをきちんとまとめていただきたいです。</p> <p>・H27年度は、担当課と共催で講演会を実施し、44人の参加者(男26人、女18人)実績あり。だが、新項目(H26年度評価項目にない)ため、比較評価は困難。</p> <p>・研修、講演会の回数、参加人数の数値目標を決め(受講者の全職員からの%も)、次年度に臨んでほしい。</p> <p>・講演会後の発展性を考えて欲しい。</p> <p>・講演会の講師も内容もわかりませんが、出席者が少ないのは残念。女性フォーラムにもっと参加を呼びかけてください。</p>										
	判定理由及び改善策の提言等(案)		<p>参加人数が少ないので、この評価としました。</p> <p>男女平等や男女共同参画社会づくりについての意識啓発が進めば、女性管理職の登用にもつながることと思います。職場内の慣行や固定的な役割分業の改善につながるよう、全職員対象だけではなく、新人研修や新任管理職研修、男性職員対象、ライフサイクル別等の研修会の実施を検討してください。また、全職員を対象にする場合にも、参加を義務付ける等の新たな手段を講じて、参加人数の増加に努め、府中市が男女共同参画宣言都市であることの認識を高めてください。</p> <p>また、実施回数や参加人数の数値目標を定めるとともに、研修の目標・講師名や内容、ワーク・ライフ・バランスの実現の効果についても具体的に記載をしてください。</p>										C

2 教育の場における男女共同参画

(1) 学校における男女平等教育の推進

			各委員による評価										評価平均
31	男女平等教育の推進	指導室	C	E	C	C	C	D	C	E	C	C	2.5
	特記事項 (コメント)	<p>・「人権教育の一環として実施、目標の数値化困難」では、実態を把握することはできない。もっと具体的に記述してほしい。</p> <p>・どのような教育をしたのか具体例がなく、評価しようがない。</p> <p>・内容がわかりませんので、現状維持でこの評価にしました。</p> <p>・数値目標は困難であるとのことだが、教職員対象にアンケートを実施するなどし、問題点、課題を抽出し改善につなげることが必要である。</p> <p>・具体的に人権教育にどのように取り入れて実践しているのか、数値化できなくても言葉で説明していただきたいです。</p> <p>・H27年度は、人権教育の一環として実施とあり、数値目標の設定が難しいとあるが、具体的な実績記載がないため評価は困難。新項目(H26年度評価項目)にないため、比較評価は困難。</p> <p>・この回答では、「指導室では男女平等教育は人権教育の一環として(その内容も明記されることなしに)実施しているので、特には何もしていない」と読めてしまう。評価できる回答を先ず求める。</p> <p>・今後世代育成のための牽引役の自覚をもっての行動が求められる。</p> <p>・小・中学校に少なくとも男女共同参画モデル校を1校か2校応募してもらう様な事は出来ませんか。</p>											
	判定理由及び改善策の提言等(案)	<p>どのような教育をしたのかの具体例がなく内容がわかりませんので評価することが難しく、人権教育を行ったという実績のみのため、現状維持の評価としました。</p> <p>人権教育の一環としての具体的な取組内容の記載をしてください。</p> <div style="text-align: right; border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block; color: red; font-weight: bold;">再評価</div>											

Ⅱ ワーク・ライフ・バランスの推進

1 仕事と生活の両立支援推進

(1) 職場におけるワーク・ライフ・バランスの推進

各委員による評価

評価平均

38②	啓発活動の充実と関係機関との連携強化	市民活動支援課	B	B	C	C	B	C	C	B	C	C
-----	--------------------	---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

3.4

特記事項
(コメント)

- ・参加者を多く集めていることを評価した。連携先(事業項目22番)の数値目標と合わせるように。
- ・数値目標を設定し、職員に対して確実に研修を実施している点は評価できる。アンケート結果等で主だった意見等が提示されると、今後より良い評価ができると思います。
- ・引き続きPRや研修を実施してほしいのでこの評価にしました。
- ・フォーラム基調講演の女性参加者80%と高いが、ワーク・ライフ・バランスを定着させるためには、男性職員、管理職の意識改革が必要であり、男性や管理職向けの研修も検討してください。
- ・ワーク・ライフ・バランスを意識して取り組んでいる。
- ・市民活動支援課が中心となり、市民への更なる浸透と啓発を図っていただきたいと思います。
- ・啓発事業年間1回以上開催の目標に対して、H26年度は男女共同参画記念講演会を1回実施し、受講者85名(内男性15名)で、H27年度は男女共同参画推進フォーラムを1回実施して、83名(内男性16人)と減少したが、職員対象の研修年間1回以上の目標に対して、職員研修を実施して、H26年度は受講者34名(内男性18名)に対して、受講者44人(内男性26人)と増加した。
- ・数値目標は達成されており、講演内容もよく、参加人数も多く好評だったようなのでこの評価とした。今後、参加人数目標やPR方法も課題として残っている。
- ・良い方向性が見つけられつつあるように思われるので、この評価とした。
- ・管理職対象の研修はいかがですか。

判定理由及び改善策の提言等(案)

参加者を多く集めていることを評価し、この評価としました。
フォーラム基調講演の参加者のうち女性の割合が80%と高くなっていますが、男性の参加者が増えるようPR等において工夫してください。また、ワーク・ライフ・バランスを定着させるためには、市職員(特に男性職員や管理職)の意識改革が必要ですので、研修の内容及び男性職員の参加者を増やすための検討をしてください。

数値目標は、年に1回以上の開催となっているので、フォーラムでワーク・ライフ・バランスがテーマにならない場合も必ず他で啓発事業を行うようにしてください。

C

2 子育て支援

(1) 保育サービスの充実

			各委員による評価										評価平均
45	待機児童の削減等低年齢児保育の充実	保育支援課	C	B	C	C	D	C	C	D	D	C	2.8
	特記事項 (コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・努力していることは伝わってくるが、報告書の記述。28年度目標にあるのは27年度の間違いか？計画・目標・結果の数値が読み取れない。 ・待機児童削減に向け、認可保育園の開設に向けて計画実行し、受け入れ可能な児童数を着実に増やしているため、この評価としました。 ・現状維持とし。この評価にしました。 ・待機児童の解消に向け、受け入れ体制拡大の努力を評価します。引き続き早期解消に努めてください。 ・引き続きの取り組みに期待しています。 ・市独自の新たな対応策に大いに期待しております。(個人的には、できれば3歳までは母親が家庭でしっかり子育てしてほしいと思っています。) ・H27年度計画では、0～2歳児の保育所定員総数が1830名で、H27の実入所数は1965名と定員を上回っている。待機児童数はH26年度は352人で、H27年度296人と前年に対して減少しているが、依然として低年齢児の待機児童が生じている。 ・低年齢児の待機が増加し、待機すらできない隠れ待機児童が増える中、全市において0才4人増という「焼け石に水」的対応ではとても追いつかない。市施策、市政の中でも最重要市民の注目度の高い項目なので、抜本的改革を求める。 ・早急に求められることなので、他の自治体の成功例などを積極的に取り入れての対応が求められる。 ・引き続き十分頑張ってください。 											
	判定理由及び改善策の提言等(案)	<p>待機児童削減に向け、認可保育園の開設に向けて計画実行し、受け入れ可能な児童数を着実に増やしているため、この評価としました。</p> <p>引き続き、民間事業者との連携や市独自の新たな対応策を進める等、特に低年齢児の待機児童の早期解消に努めてください。</p> <div style="text-align: right; border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block;">再評価</div>											

(2)ひとり親家庭への支援

			各委員による評価										評価平均
			C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	3.0
50	ひとり親家庭の自立のための援助サービスの実施	子育て支援課	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	3.0
	特記事項 (コメント)	<p>・府中市在住のひとり親家庭が何世帯か分かったと、さらに評価しやすい。現状は課題に対して、施策を実施していることが伺えたので、この評価としました。</p> <p>・現状維持とし、この評価にしました。</p> <p>・ホームヘルパーの派遣や給付金支給制度等事業の周知を図り、支援の拡大に努めてください。</p> <p>・利用促進に力を入れてほしい。</p> <p>・セミナーは参加者も少なく、むしろ個人対応の方が必須だと感じました。ホームヘルプサービスの益々の充実に期待しています。</p> <p>・ひとり親ホームヘルプサービスの派遣時間は、10,368時間でH27計画の7,286時間を上回った。(計画に付加時間が4,172時間別に記載があるため、合計では11,458時間で下回る) なお、H26年度の8,999時間に比べ増加し、派遣回数は、H26年度1,900回に比べ1,874回と減少した。ひとり親家庭自立支援事業は、高等技能訓練促進給付金で5件で目標値9件を下回り、教育訓練支給金では1件で目標値3件を下回った。セミナー開催は計画通り2回(参加者総計9人)実施された。</p> <p>・おおむね目標値、実施項目内容が達成されているので、この評価としました。</p> <p>・広報等、「ひとり親家庭支援事業」が周知徹底されるように努力してください。</p>											
	判定理由及び改善策の提言等(案)	<p>現状維持とし、この評価としました。</p> <p>引き続き、ホームヘルパーの派遣や給付金支給制度等の事業の周知を図り、支援の拡充に努めてください。</p> <p>また、府中市在住のひとり親家庭が何世帯あるか等、実態のわかる内容を加えていただくとさらに評価しやすいです。</p>										C	

3 介護支援

(1) 高齢者・障害者・介護者支援等の充実

			各委員による評価										評価平均
59②	介護に関する知識や情報の提供	高齢者支援課	C	C	C	C	B	C	C	C	D	C	3.0
	特記事項 (コメント)	<p>・目標の数値設定に努力してほしい。冊子の発行部数や配布先の拡大などもあるのでは？</p> <p>・これから重要となってくる介護問題に対して、介護保険制度をまとめた冊子を広く配布した点を評価します。数値目標になじまないとのことですが、年間でどのくらいの出前講座の要請があり、どれくらい対応できたのか(%)等や、出前講座の参加者にアンケートを取るなどし、満足度を数値目標にする等、目標の立て方に工夫する余地はまだあります。検討をお願いします。</p> <p>・取組を継続に実施しているので、この評価にしました。</p> <p>・冊子の配布先や配付方法、出前講座の周知方法、開催回数等を具体的に記載してください。</p> <p>・おとしよりの福祉はわかりやすくまとまっていて使いやすい。必要な方に確実に届くような配付方法を考えてほしい。</p> <p>・ガイドブックはお年寄りが理解できているのでしょうか。発行しているから良しとするのではなく、どこまで役に立っているかアンケート等で把握していただきたいと思います。出前講座はとても良い取組みだと思います。</p> <p>・出前授業は要請に応じてのため、数値目標は難しいと記載あり、「介護保険ガイド&おとしよりのふくし」発行部数は15,000部で、H26年度の12,000部の配布数を上回っている(配布数と発行部数のため単純比較は出来ない)。</p> <p>・おおむね実施項目が計画通りに行われているので、この評価としました。</p> <p>・「介護保険ガイド～」の冊子の発行等、実施内容で評価に値する部分を認めるも、必要とされる現場への浸透が完全とは言いがたく、より一層の努力が求められる。</p> <p>・出前講座の要請はどのくらいありますか？良い事なので、自治会等への押し売りはしませんか？また、どの項目になるかわかりませんが、親への虐待もあります。これも児童虐待同様に早期発見の手段を考える必要があるのでは。</p>											
	判定理由及び改善策の提言等(案)	<p>介護保険制度をまとめた冊子を広く配布した点を評価し、この評価としました。</p> <p>冊子の作成にあたっては、介護が女性だけの負担にならないような男女共同参画の視点も大切です。</p> <p>冊子の配布先や配付方法、出前講座の周知方法、開催回数等を具体的に記載していただくとともに、冊子が必要な方に確実に届くような配布方法を検討してください。また、こういった情報が届かない方への情報の提供や高齢者虐待の防止のために、積極的な民生委員との協力を期待します。</p>											C

Ⅲ 人権が尊重される社会の形成

1 配偶者等からの暴力の防止

(1) 暴力の根絶に向けた取組の推進

各委員による評価

評価平均

62	暴力を防ぐための意識啓発	市民活動支援課	C	C	C	B	B	C	B	B	C	C
----	--------------	---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

3.4

特記事項
(コメント)

「～の検討」は数値目標ではない。市主催講座は1回以上、市民が計画する講座開催を含めて2回以上としてはどうか。
 ・確実にセミナーを実行している点を評価し、この評価としました。来年度の計画に「事業実施会場を女性センターと限定せず、大学・高校・中学校等他の会場も検討する。」に期待しています。
 ・現状維持とし、この評価としました。
 ・講座の開催やキャンペーンの実施などいろいろ工夫している点を評価します。引き続き、受講者の拡大に努めてください。
 ・キャンペーンなどを上手に利用し、学校などの会場の実施も検討されている。
 ・更なる啓発活動に努めていただきたいと思います。声に出しにくい問題ですので、実施会場を女性センターに限定せずに広げていくのは良いことだと思います。
 ・市主催の年1回の講座、市民が開催する講座開催の検討が数値目標で、H27実績は、DV防止を考える講座を1回、デートDV保護者向け講座を1回開催し、それぞれ受講者23人(男性0人)、受講者8人(男性1名)、で、H26実績は、DV被害者の現状と自立に向けた講演を1回開催し受講者12人(男性0人)に比較し、講座数、受講者数ともに増加している。
 ・講演会の内容。会場の選定等、実績から今後の課題設定へ問題点(参加人数など)を的確にとらえ、次につなげようとしている点が良い。
 ・目前の事象も問題ですが、デートDV等もあり、やはり教育が大切なので、小中高での話しが必要では？

判定理由及び改善策の提言等(案)

確実にセミナーを実行していることから、この評価としました。
 来年度の計画にある「事業実施会場を女性センターと限定せず、大学・高校・中学校等他の会場も検討する。」について、積極的な実施を求めます。

2 人権の尊重

(1) 家庭内暴力等の根絶に向けた取組の推進

			各委員による評価										評価平均	
69①	児童虐待を防ぐための意識啓発	子育て支援課	C	D	C	C	C	C	C	C	B	C	C	3.0
	特記事項 (コメント)	<p>・数値目標の設定の努力をしてほしい。月一回の情報交換とか、連携関係機関の拡大とか。</p> <p>・児童虐待を防ぐために何かしらの意識啓発策を実施していることは理解できるが、具体例がなく評価しづらいので、この評価としました。関係機関との連携により、虐待の実態把握をし、被害を最小限に抑えることも重要だが、子供をもつ市民への直接的な啓蒙(どうしたら虐待せずに済むか、心の持ち方など)できると活動としてはさらに良いものになるのではないのでしょうか。</p> <p>・<u>現状維持とし、この評価としました。</u></p> <p>・<u>関係機関との連携、情報共有の迅速化に努め、早期発見、早期支援に結び付けてください。</u></p> <p>・引き続き早期発見、早期対応のための取り組みに力を入れてもらいたい。</p> <p>・児童虐待防止の普及啓発の具体例をあげていただきたいです。なかなか実態の見えにくい問題ですので、市民への意識啓発を図ることによって、防止につながっていくことを期待したいと思います。</p> <p>・内容的に数値化が難しいと記載あり、H27実績は児童虐待防止マニュアルを活用し、関連機関との連携強化・情報共有の迅速化を実施とあり。内容的に数値化が難しいとあるため、具体的な実施実績の記載がなく評価は難しい。</p> <p>・数値目標の難しい項目ではあるが、増加傾向にある児童虐待を意識啓発から防いでいこうとする工夫が見られる。</p> <p>・<u>地域住民の協力を得る方法や、多方面からの監視体制の充実推進等も考えられないだろうか。</u></p> <p>・残念なことです。現在虐待をしている人、しそうな人を啓発することはほとんど無理だと思います。早いうちに気づき、手段を講じることが大切だと思います。</p>												
	判定理由及び改善策の提言等(案)	<p>現状維持とし、この評価としました。</p> <p>引き続き、児童虐待防止マニュアルを活用し、関係機関との連携、情報共有の迅速化に努め、早期発見、早期支援に結び付けてください。また、市民への意識啓発や地域住民の協力も含めた多方面からの監視体制の充実についても進めてください。次年度からは、市民への意識啓発について具体的な記載をお願いします。</p>												

(3) セクシュアルハラスメント防止の推進

			各委員による評価										評価平均
			C	C	C	D	C	C	C	C	C	C	
78①	職員・教職員に対する研修会の実施	職員課	C	C	C	D	C	C	C	C	C	C	2.9
	特記事項 (コメント)	<p>計画の内容を読むといろいろ工夫・努力していることがわかるが、目標設定が前年と同様というのは残念。こちらでも一工夫してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確実に研修を実行した点を評価し、この評価としました。受けた側がハラスメントと感じれば、加害者がどう意図したかは別にハラスメントになってしまうもの。職員全員に正しい理解が行き渡るように、年代別研修などに取り入れてはどうか。 ・現状維持として、この評価としました。今後も研修を実施してください。 ・研修の実施回数を増やすとともに、研修方法もいろいろ工夫して、参加者の増加を図ってください。 ・計画に積極性を感じます。他市との比較や継続的な取組等、主体的に事に当たろうとする姿勢を感じ、好感が持てます。 ・H27年度計画は全職員を対象としたセクシュアルハラスメント防止研修の実施で、H27年度は実施済み(H28年1月21日)。H26年度は参加者が28人(男性17人、女性11人)、H27年度は32人(男性19人、女性13人)参加者は微増している。なおH25年度は参加者は43人だった。 ・研修会の回数、参加人数は数値目標を入れるべき。内容については、角度を変えた取り組みがされており、改善されている。 ・現状で良いのでは。 											
	判定理由及び改善策の提言等(案)	<p>現状維持として、この評価としました。 職員全員に正しい理解が行き渡るように、職域別、年代別の研修などの実施も検討してください。</p>											

3 生涯を通じた健康支援

(1)生涯を通じた健康保持・増進支援

			各委員による評価										評価平均	
84	リプロダクティブ・ヘルス/ライツの啓発	健康推進課	C	C	C	C	C	C	C	C	D	C	C	2.9
		特記事項 (コメント)	<p>・目標設定に、さらに上を目指す姿勢が感じられない。現状に満足しているということか。</p> <p>・内容を見直して、<u>母親学級の内容を見直した点は評価したい。</u>一方で、<u>リプロダクティブ・ヘルス/ライツの啓発とは「子どもを持たないライフスタイルを選択する人々を含めた、すべての個人に保障されるべき健康概念」であるとの理解をしています。様々なニーズを持つ人に向けた施策の検討をお願いしたいです。</u></p> <p>・現状維持とし、この評価としました。</p> <p>・実情にあった事業内容の見直しを進めながら、引き続き啓発に努めてください。</p> <p>・広報をしっかりと行い、せっかくの講座なのですから、多くの方に参加していただけるよう益々努力いただきたいと思えます。</p> <p>・H27年度計画はH26年度計画に講座内容の変更を加えたと記載あり、H27年度より<u>母親学級・両親学級の内容を見直し</u>、児童虐待、父親の育児参加、子育て支援制度の活用などを盛り込んでいる。H27年度は母親学級977人、父親学級439人、H26年度実績と同数。母子保健相談は784人で、H26年度実績の718人より増加している。</p> <p>・リプロダクティブ・ヘルス/ライツの意味を理解して、市が単なる母親学級でない女性の生涯を通じた身体学習ができるような講座やパンフ作成ができるよう次年度に期待する。今年度はそれが見られなかったのでこの評価とした。</p>											
		判定理由及び改善策の提言等(案)	<p>母親学級・両親学級の内容を見直したことから、この評価としました。</p> <p>リプロダクティブ・ヘルス/ライツの原点に戻り、未婚の男女も含めて様々なニーズを持つ人に向けた啓発事業を市民活動支援課との連携も含め、検討してください。</p>											

4 相談体制の充実

(1) 相談窓口の充実

			各委員による評価										評価平均
89②	女性自身に関する相談(女性問題相談)	市民活動支援課	C	C	C	C	C	C	D	C	C	C	2.9
特記事項 (コメント)		<p>・数値目標設定に努力を。 ・<u>女性が安心して相談できる場を確保している点を評価したい。平日の開設だけでなく、月1回だけでも土日に関所できれば、幅広く相談を受付できるのではないかと考えます。</u> ・現状維持とし、この評価としました。女性の方が相談しやすい体制の検討をしてください。 ・<u>相談カードの設置場所の拡大、土・日・夜間の相談体制の導入を検討してください。</u> ・かなりの相談数に驚いております。引き続ききめ細かい対応に心掛けていただければと思います。 ・H27目標は相談体制は、H26年度継続実施、DV被害者マニュアル研修の実施。H27年度の相談体制にH26年度に対して変化なしで、H27実績は、相談総数1,331件でH26実績の1,324件減少、DV被害者マニュアル研修はH27実績に記載なし、H26年度は実施1回参加者46人。相談カードの設置場所の検討が今後の課題(現在は市内公共施設・一部の民間施設の女性トイレに配架) ・相談を受けたい市民がどういう時間帯に窓口に行けるかを考えないと、悩みを抱えた市民の相談窓口にはなっていない。相談員の就業時間から相談時間を決めては、いつまでもこの評価から良くならない。</p>											
判定理由及び改善策の提言等(案)		<p>女性が安心して相談できる場を確保していることから、この評価としました。 平日だけでなく、月1回だけでも土・日・夜間に相談窓口を開設できるとより相談しやすくなります。土・日・夜間の相談体制の導入を検討してください。</p>											

IV 男女共同参画社会づくり

1 普及・啓発活動の推進

(1) 広報・啓発活動の充実

91① 広報紙・啓発冊子等での啓発の充実		広報課	各委員による評価								評価平均
			C	C	C	C	C	C	C	C	
特記事項 (コメント)		<p>・数値目標設定に努力を。広報紙やテレビでの広報を少なくとも月一回は実施するなど。</p> <p>・府中市民に配布している<u>広報物に意識啓蒙のための紙面を掲載していることは評価できる</u>。府中市民にどのくらい「男女共同参画」が浸透しているか無作為のアンケートをとることなどできないか。(府中市民だった時に、ポストに数回アンケートが入っていたため)アンケートをとることで、広報の課題が見えてくると思われます。その改善活動により、府中市はさらに良くなると思います。</p> <p>・現状維持とし、この評価としました。</p> <p>・<u>広報紙やテレビ広報等の具体的活用事例について記載してください。</u></p> <p>・ヒアリング効果が感じられ、「より具体的な行動」という部分に大いに期待しています。</p> <p>・数値目標は困難だが、H27実績は男女平等に関する事業について、広報ふちゅうに掲載したとあり。内容的に数値化が難しいとあるため、具体的な実施実績の記載がなく評価は難しい。</p> <p>・今までの媒体の中での広報活動は一定の評価ができるが、HP(例えば、グーグルのように、暴力根絶キャンペーン週間ではバックの色をバイオレットにするとか)やSNS等、新しい媒体を使ったフレッシュな広報を期待する。</p> <p>・情報化社会の現状を見るにつけ、対策改善の方向性は認められるが、インターネットの活用等、まだまだ可能性が見つけられるように思われる。</p> <p>・今年度から大分変わって良くなりました。読む人、特に女性の意見を聞く機会を作ってはいかがですか？</p>									
判定理由及び改善策の提言等(案)		<p>広報物に意識啓蒙のための紙面を掲載していることは評価でき、この評価としました。</p> <p>ヒアリングに応じていただいた内容を活かし、引き続き男女共同参画社会の実現に向けた啓発活動の充実に努めてください。</p> <p>また、広報紙やテレビ広報、ツイッターやホームページ等のインターネットの具体的活用事例について記載してください。</p>									

1 普及・啓発活動の推進

(3) 推進体制の充実

			各委員による評価									評価平均	
95	男女共同参画の推進に係る庁内推進組織の運営	市民活動支援課	C	B	C	B	C	C	C	B	B	B	3.5
特記事項 (コメント)		<ul style="list-style-type: none"> ・数値目標設定に努力を。 ・男女共同参画推進本部を設置し、課題抽出に取り組んでいることは評価したく、この評価としました。今後は課題解決に向けた改善活動に確実に取り組むことを期待しています。 ・現状維持とし、この評価としました。 ・男女共同参画推進本部を設置し、定例会を開催するとともに、アンケート調査を実施し、7つの課題を抽出したことを高く評価します。 ・アンケートを取って問題点や課題を「見える化」しているところが素晴らしいと思います。回収率はどの位でしたでしょうか。これらを少しでも改善できるよう、引き続きご尽力いただければと思います。 ・H27年度計画は男女共同参画推進本部、下部組織の幹事会・専門部会の開催をすとあり、H27実績は、本部会議2回、幹事会2回、専門部会4回開催とあり。だが、新項目(H26年度評価項目)にないため、比較評価は困難。 ・実績や評価というより、自己評価の適切さとそれを受けての次の課題に向けての取組を評価した。 ・今後の課題が具体的に示されているので、解決策へ向けての行動が動き出せるのではと期待している。 ・頑張りを期待しています。 											
判定理由及び改善策の提言等(案)		<p>男女共同参画推進本部を設置し、課題抽出に取り組んでいることは評価したく、この評価としました。 アンケートを取って問題点や課題を「見える化」しているところは素晴らしいと思うので、今後は課題解決に向けた改善活動に着実に取り組むことを期待しています。</p>											